

ごみ焼却施設 処理フロー

- ごみ
- 排ガス
- 灰・飛灰
- 蒸気
- 電気
- 空気
- 水
- 薬剤

ごみの流れ

ごみピット内のごみは、ごみクレーンで攪拌して均質化し、ごみ投入ホッパから給じん装置を経て焼却炉内に供給します。炉内のごみは、ストーカ上を移動しながら850℃以上の高温で完全燃焼し、灰になります。

空気の流れ

ごみピット内の臭気を含んだ空気は、燃焼用空気として焼却炉内に送られ完全燃焼することで、臭気は分解されます。

灰・飛灰の流れ

灰は灰冷却装置で冷却されたあと、場外へ搬出されます。また、廃熱ボイラ、減温塔、集じん装置で捕集された飛灰は、薬剤処理後、場外に搬出されます。

蒸気の流れ 発電の仕組み

廃熱ボイラで排ガスの熱を回収して作られた蒸気は、蒸気タービン発電機で発電に利用されます。発電された電気は施設内で使用するほか、余剰分は隣接したむつ衛生センターの電力として使用します。

排ガスの流れ

焼却処理で発生した排ガスは、薬剤吹き込み後、集じん装置でダイオキシン類やばいじん等を捕集し、さらに反応装置でダイオキシン類を分解除去した状態で、煙突から排出されます。

排ガス基準(O ₂ 12%換算値、1時間平均値)		
項目(単位)	法令基準値	管理基準値
ばいじん (g/m ³ N)	0.15以下	0.01以下
硫酸化物 (ppm)	—	20以下
塩化水素 (ppm)	430以下	50以下
窒素氧化物 (ppm)	250以下	80以下
一酸化炭素 (ppm)	※30以下	※30以下
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1以下	0.05以下
水銀 (μg/m ³ N)	30以下	30以下

(※4時間平均値)

